

2022年度競技関係申し合わせ事項

2022年11月5日改定

県小連競技委員会

改訂部分は赤字で表記。

※この競技関係申し合わせ事項は、岡山県小学生バレーボール連盟が主管または主催する大会のみ適用する。
全国大会や中国大会など他の大会へ参加する場合は、その主催者の大会要項等に従うこと。

☆県小連ホームページについて

- ・チーム責任者や指導者は、県小連ホームページの定期的な閲覧やチーム宛メール等を確認し情報収集に努めること。

☆県大会試合方法について

- ・全試合トーナメント戦を原則とするが参加チーム数などによって常任理事会の承認を得て変更することもある。

☆ベンチ入り選手について

- ・最大12名とするが大会によって変更する場合がある。

☆ベンチの椅子および得点板の位置について

- ・最大9脚とするが大会によって変更する場合がある。
- ・得点板は、従来通り①または④の位置に置く。(主審側)

☆混合部門の参加申し込みおよび試合中のルールについて

- ・男子及び女子が1名以上で申し込むこと。
- ・試合中のコート内は常に混合であること。
- ・混合でなくなった場合は、不法な選手交代として取り扱う。
- ・セット終了後に判明した場合、そのセットは成立する。
- ・試合終了後に判明した場合、その試合は成立する。

☆選手のベンチスタッフ登録について

- ・選手は、マネージャーとして登録できる。
※MRSの該当選手を「選手兼マネージャー」にすることで登録可能。

☆大会当日の選手およびベンチスタッフの変更／追加について

- ・選手の背番号変更のみ「エントリー変更届」の提出することで認める。
- ・監督は、試合前にチームキャプテンが主審に許可を得ることによりコーチが代行することができる。

☆選手の参加について

- ・健康な状態で参加すること。（健康診断書等の提出は不要）

☆メンバー表、スターティングラインアップシートについて

- ・チーム側でメンバー表、スターティングラインアップシートを用意すること。
※用紙は県小連ホームページよりダウンロード
- ・混合部門に参加するチームは、メンバー表の記入時、男子選手にマーカーを行うこと。
なお、マーカーの色は問わない。
- ・メンバー表は、予選日と決勝日にそれぞれ受付で提出すること。

☆点示用チームプレートについて

- ・チーム側で用意すること。
- ・A4サイズで白地に黒文字としよく見えるように大きな文字サイズを使用すること。
- ・チームプレートは、破損等防止のためラミネート加工が望ましい。ラミネート加工が困難な場合は、透明なクリアファイルに密封してもよい。
- ・チームプレートは、試合前に記録員へ提出し、終了後に回収すること。

☆大会会場での練習について

- ・カベ打ちを禁止する。
また、カベや観客席に向かってボールを打ってのアタック練習も禁止する。
- ・全チームでの練習が許可されている場合は、コートを占有しての練習を禁止する。
- ・別の練習場所が用意されている場合は、会場責任者からの注意事項に従って使用すること。なお、必ず指導者がつくこととし選手のみ使用は禁止する。

☆県大会における公式練習について

- ・単独3分または合同6分とする。試合前、キャプテンのトスを行う時に決定する。

☆公式練習及び試合間練習のボールガードについて

- ・試合中の隣接コートへの練習ボール侵入による競技中断を避けるために最大5名までボールガードとしてアリーナへ入ることを認める。（子供でもよい）
- ・コート間に位置すること。（エンドライン後方や壁際は不可）
- ・ボール拾いやボール渡しなどの練習補助を禁止する。
- ・服装は、トレーニングウェア（短パンやハーフパンツは可）で体育館シューズを履くこと。また、危険防止のためバッグ等を身につけないこと。
※壁際やベンチ付近の邪魔にならない場所に置いておくこと。
- ・ボールガードの趣旨を理解し、相手チームと協力しておこなうこと。

☆選手の服装について

- ・ユニフォーム（ジャージ、パンツ、ソックス）は、チームで統一されていること。
ただし、ソックスのワンポイントや多少の長さの違いは認める。
- ・ブロック別五年生大会、OHK杯新人戦の場合は、アンダーシャツを着用してもよい。
ただし、着用有無、色、袖丈はチームで統一されていること。

- 混合チームは、男女が識別できるよう違うユニフォームの着用（番号重複不可）、腕章、ソックスの長さや色、ハチマキ等で識別できるようにすること。
※県小連でも腕章を準備し希望チームへ貸し出す。
- ワイピング用タオルは、動きの邪魔にならないように身につける。

☆ベンチスタッフの服装について

- 上着は襟付きのものであること。ハーフパンツ等は不可とする。
- チームで統一された服装が望ましいが、統一できない場合でも色は同系色にすること。
- アンダーシャツの着用有無を統一すること。色は同系色にすること。
- 選手がベンチスタッフの場合は、トレーニングウェアであれば襟なしやハーフパンツ等でもよい。また、アンダーシャツの着用も統一しなくてよい。
- ベンチコート等の防寒着は着用してもよいが、試合前後の挨拶の時は脱いで行うこと。また、防寒着を脱いだ状態の服装は、統一または同系色であること。
- 審判服（上下）、手袋、ネックウォーマー、帽子は禁止する。
- チーム役員章は、左胸に常に見える状態で着用すること。
- 怪我等で上記服装にできない場合は、会場責任者に申し出て許可を得ること。

☆ベンチへのうちわ等の持ち込みについて

- 持ち込んでもよいが、タイムアウト時のみの使用とし、ゲーム運営に支障をきたさないようにすること。

☆ベンチスタッフのマナーについて

- タオルを首にかけたりゲーム中にうちわであおぐ等のないよう気をつけること。
- シャツは、ズボンの中に入れること。
- 強い口調での選手へ指導を禁止する。
- 審判ジャッジへの批判は行わないこと。

☆ドリンクケース、救急箱、ボールかごの置き方について

- ドリンクケース、救急箱等は原則ベンチ椅子の下又はベンチ後ろに置くこと。
ただし、ウォームアップエリアまたはベンチの監督席と隣の席の間に置いてよい。
- ボールかごは、ウォームアップエリア又はゲームエリア外に置くこと。
- 車輪付きのドリンクケースは、アリーナ内では持って移動すること。

☆テクニカルタイムアウトについて

- 全日本大会岡山県大会、ECCジュニア選手権大会は、第1、第2セットは7点目および14点目に達したとき、第3セットは8点目に達したときに適用する。
- ブロック別五年生大会、OHK杯新人大会は、第1、第2セットは11点目、第3セットは8点目に達したときに適用する。
- **ベンチスタッフは健康観察を目的に選手の近くへ行き、話をすることはできるが、作戦上の指示は出せない。**

☆応援マナーについて

- 審判やラインジャッジの判定を批判しないこと。
- 隣のコート試合などの迷惑にならないような応援に心がけること。

- ・鳴り物やメガホンでの応援を禁止する。

☆その他

- ・代表者会議での資料や伝達事項および監督会議での伝達事項は、必ず守ること。
- ・状況に応じて発せられる会場責任者からの伝達事項は、必ず守ること。

☆大会使用ボールについて

大会名	2022年度		2023年度	
	男子/混合	女子	男子/混合	女子
全日本大会岡山県大会	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ
ECCジュニアカップ 選手権大会	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン
ブロック別五年生大会	ミカサ	モルテン	モルテン	ミカサ
OHK杯新人大会	モルテン	ミカサ	ミカサ	モルテン